

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-386-1081
------	--------------

年度	平成30年度
施設名	新潟市北区郷土博物館(分館 横井の丘ふるさと資料館を含む) 所管部・課 北区地域総務課
施設の設置目的	「新潟市北区郷土博物館」は、博物館法第2条第1項に規定する博物館として、北区の考古、歴史、民俗、美術等に関する資料の収集、保管及び展示、調査研究及びその成果の公開などの事業を通して、市民の教育、芸術及び文化の向上を図ります。

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	H30.4.1	
歳入	254 正職員	3	修正日	
歳出	12,804 非常勤	2	評価日	H31.6.20

No.	視点	目標	評価指標				参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価		
			項目	H27実績	H28実績	H29実績					H30目標	H30結果
1	市民	入館者の増加	企画展等を実施して入館者数年間9,300人以上(単位:人)	9,065	9,081	10,019 (入館者: 8,610人、館外事業参加者、1,409人)	9,300 (入館者: 9,000人、館外事業参加者、300人)	9,141 (入館者: 8,265人、館外事業参加者: 876人)	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展拡大企画を3回開催 ・ふるさと学習の利用拡大 小学校6校 ・開館50周年記念講演会の開催 ・開館50周年記念 郷土芸能発表会(区づくり事業)の開催(北区文化会館との共催事業) ・「北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り」 ・開館50周年記念講演会 ・開館50周年記念 郷土芸能発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展拡大企画「一所蔵品のなかの自然展—美術のなかの自然展」 ・「昭和のくらし展3」 ・「北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り」 	平成30年度は、当館の開館50周年にあたり、「特色ある区づくり事業」として、伝統芸能文化の祭典を、北区文化会館との共催で開催しました。公演だけでなく、神楽のお頭展示コーナーや横笛体験コーナーを設け、多角的にアピールし、延べ600人の方たちから楽しんでいただきました。企画展は、昨年度末からの継続で「美術のなかの自然展」の後に、恒例の書道グループとの共催展、小中学生の書道と科学のコンクール、そして自主企画2つを開催しました。館外事業の準備に重点が置かれ、自主企画展では、「弦巻松蔭展」を小規模にしたことや、「昭和のくらし展3」の事前の広報活動が十分にできなかったことなどから、目標を達成するには至りませんでした。また、書道グループとの共催展やこどものコンクール展の入館者数が例年を下回ったことについては、猛暑も要因の一つと考えられます。	C:未達成
2	財務	歳入の増加	刊行物の販売収入年間150,000円以上(単位:円)	408,950	367,900	139,400	150,000	161,700	『常設展示案内』の活用と販売	『常設展示案内』の活用と販売	『常設展示案内』の販売は、当初の予定よりも遅れ、1月からの「昭和のくらし展3」の開催に合わせて開始しました。体系的なガイドブックであるため、大変好評で、順調に実績を伸ばし、目標に迫りました。	B:達成
3	業務	市民との協働(講座回数)	ボランティアガイド養成講座開催を年間3回以上(単位:回)	-	講座 4回 その他研修等 3回	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ガイドによる常設展示等の解説により、「北区の歴史と文化」をわかりやすく案内できる博物館づくりを促進。 ・当館常設展示の内容と関連のある他館展示の見学や、解説会への参加 ・解説のスキルアップのための講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・当館常設展示の内容と関連のある他館展示の見学や、解説会への参加 ・解説のスキルアップのための講座の開催 	県立博物館常設・企画展観覧、新潟市立歴史図書館主催の講座への参加など、館外での研修講座2回、他館ボランティアとの交流会への参加1回。館内での実践的なスキルアップ講座1回。合計4回実施し、目標を達成しました。その他、小学校のふるさと学習や、市民団体への対応の前に入念な打合せを行い、実施後には反省会を設けて話し合いを重ねています。後の打合わせと反省会も欠かさず行って、スキルアップに励んでいます。	B:達成
4	人材	人材育成	職員の職場内外の研修会参加延べ10回以上(単位:回)	3	3	3	10	12	H29年度までは、職場内の研修会の実施回数で目標設定したが、H30年度は、職場の外の研修への参加を含めて目標設定。	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展拡大企画について、職員全員の共通理解を深めるための職場内研修 ・歴史、民俗、美術等専門分野の研鑽 ・その他博物館業務に必要な研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵作品公開—美術のなかの自然展」、「弦巻松蔭—学書と模索の時代展」、「昭和のくらし—着る」にまつわる道具たち」の3つの企画展についてそれぞれ職場内研修を行い、職員の共通理解を深めました。 ・職場外研修についても、機会をとらえて研修に参加するように心がけ、計画通りに実行できました。 	B:達成

<p>取り組みについて(目標設定の考え方など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」や常設展拡大企画の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができることも、北区の魅力を発見できる博物館づくりを目指します。 ・小学校等の「ふるさと学習」の利用拡大を図るなど普及活動に取り組みます。 ・市民ガイドとの協働によるわかりやすい解説に努め、市民が気軽に利用できる博物館づくりを目指します。 ・各種団体・関係機関との連携を図り、様々な機会に利用できる博物館づくりを目指します。 ・開館50周年の特別事業として、記念講演会と、「伝統芸能発表会」(区づくり事業、会場:北区文化会館)を開催し、それらを通して、より一層、博物館の存在と活動の周知に努めます。 	<p>総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)</p> <p>平成30年度は、当館の開館50周年にあたり、「特色ある区づくり事業」として、伝統芸能文化の祭典を北区文化会館との共催で開催しました。公演だけでなく、神楽のお頭展示コーナーや横笛体験コーナーを設けて多角的にアピールし、延べ600人の方たちから楽しんでいただきました。グループとの共催展、小中学生の書道と科学のコンクール、そして自主企画2つを開催しました。館外事業の準備に重点が置かれ、自主企画展において「弦巻松蔭展」を小規模にしたことや、「昭和のくらし展3」の事前の広報活動が十分にできなかったことなどから、目標を達成するには至りませんでした。常設展示が「阿賀北の大地と人々のくらし」に変わってから、ふるさと学習で利用する小学校が増え、市民ガイドとの連携で、充実した対応が出来るようになってきました。今後は、市民ガイドのスキルアップを目的とした講座の内容にも工夫をして、ガイドの自立化を目指すとともに、多様化する市民利用に対応することを目指します。</p>
--	--